



タック & ドンキーワールド

Takku & Donky

発行：NPO法人マンボウの会
[発行：庄子 裕子]

〒854-0011 長崎県諫早市八天町6-17
電話・FAX (0957) 22-9569

Eメール manbow1388@yahoo.co.jp

ホームページ

<http://www.geocities.jp/manbow7jp/donky2003/>

就労継続支援B型事業所 ドンキーワールド
タック(出張所)

今日もみんな
頑張れる

仕事のたのしさって何？

私たちの職場タックは、栄町アーケードにあるピンクの看板が目印の軽食喫茶です。8名のなかまと5名の支援員が働いています。

毎日仕事をする中で「仕事の楽しさって何だろう？」ふと、そう考えることがあります。そんなとき私は、タックのスタッフみんなで話し合いをします。「どんな時に仕事をしていて良かったと感じますか？」と質問をします。するとほとんど全員が「お客様が“笑顔でおいしかったよ”とってくださった時です。」という返事がかえってきます。ですからスタッフにも『皆さんと一緒に食事をする時のような笑顔で、お客様にも接客をしてください。“笑顔と笑顔”が出逢った時に、“仕事の楽しさ”が生まれるのだと思います』と私は語りかけます。

2年半前のオープン当初は、お客様にオーダーを取りに行くことができなかつたスタッフが、今では胸を張って行けるまでに成長してくれました。あとは、もう少しの笑顔があれば最高です。スタッフの中にひとりでも、不機嫌な人や具合が悪い人がいれば、その職場は『暗い職場』になってしまいます。そうすると一番迷惑なのはお客様です。『楽しい職場』というも

のは、ひとりだけで作れるものではありません。

私は朝一番で、スタッフに「おはよう」と挨拶をした時に「おはようございます」と元気な声が返ってくると“ホッ”として、“よし今日もみんな頑張れるな”と感じます。

タックにこういう素晴らしいスタッフがいてくれたおかげで、オープンしてから今日まで、来客数を落とすことなく発展することができたのだと感謝しています。これからも「地域(街)の中で、地域の皆様と共に、普通に働き、普通に暮らしたい」というモットーに、タック(ありがとう)の名前のように「感謝」する気持ちを忘れずに、スタッフ一同笑顔で頑張ります。 森 勝利

「EGAO」の表紙



タックが「商店街いきいきマガジン2012:EGAO」のトップページに掲載されました。「EGAO」は全国の商店街が元気になるように応援している全国紙です。

↓タックのスタッフが働く様子



★新しいなかま紹介★

楽しく充実した日々です

おしゃべり大好き

私は、1月20日に53歳になりました。病気になってからは、週に1回の病院とハートセンター以外、外出する機会がありませんでした。

健康な時はスキューバダイビングや、ゴルフ・旅行などを楽しむアウトドア人間だったので毎日とても辛い日々を送っていました。自分でも「このままではいけない」と思いながら、リハビリに通っている時に「自分に出来る仕事はないか」と相談していたところ、ドンキーワールドを紹介していただきました。



現在はタックの厨房で、楽しく充実した日々を送らせて頂いています。一日一日を前向きに考え、今年中に「杖なしで歩けるようになれたらいいな」と思っています。 かずじ
富岡 一二

タックのホールで1月16日からお世話になっています。原田智徳です。昭和46年3月20日生まれ、魚座O型です。

趣味はおいしい物を食べる事で、甘い物・肉が好きです。健康のためにウォーキングで競技場まで行ったりします。ガーデニングが好きなのでホームセンターをのぞいたりしています。

知人の野菜屋さんの紹介で、今タックに来ています。以前、自宅の食堂で働いていたので、多少その経験が生かされていると思います。



おちょこちょいなところもありますが、長くいるつもりなのでよろしく願います。おしゃべりも大好きなので、みなさん声をかけてください。

ともりの
原田 智徳

新職員さん ★紹介★

パン外販部の戦力+笑顔づくり

パン外販部の職業指導員として入所しました、中尾照夫です。福祉関係の資格を取るために学校で勉強をしていたところ、ドンキーワールドで職員を募集していることを知り、パンの外販と福祉のこの仕事に就こうと思いました。

福祉に興味を持つようになったのは、以前の職場で一緒に働いていた障がい者の方々の仕事に対する前向きな姿勢にとっても刺激を受けたことと、高齢者の方とお話すると癒されるので、そのような方達と直接係わり合い、少しでも役に立つことができると考えるようになったからです。

趣味は読書をする事や、テレビでF1観戦をしたりとインドア中心です。でも夏には、キャンプに行っておバーキューをすることも大好きです。

今は仕事を覚えることで精一杯ですが、温かく受け入れて頂いたみなさんの気持ちに応えられるように、一日も早くパン外販部の戦力になれるよう頑張っていきます。

ドンキーワールドをもっと楽しく、もっとたくさんの人が集まる場所にしていきたいと思っています。そして、一人でも多くの方を笑顔にできたら良いなと思っています。 中尾 照夫

ドンキーワールドの オススメパン“ベスト8”

パン外販部は、午後の販売所を増やすために営業に力を入れてます。そのための販売促進ツールとして「パンの写真メニュー」を制作中です。そのメニューから先行して、ドンキーワールドのオススメパン“ベスト8”を発表します!!

池田 秀春



【ピザパン：¥180】

ピザに負けないおいしいマ// レンジでチンするとさらにおいしマアップ。



【モンブラン：¥160】

さっぱりとしたチョコの味わい。中にはホワイトクリームが入っています。



【バタースティック：¥130】

パンの中にバタークリームをサンド。シンプルだけど超人気商品。



【マルチシリアル：¥270】

クルミの食感とレーズンの甘さがマッチした、ちょっと贅沢な一品です。



【キャラチャー：¥270】

ふんわり生地、キャラメルとクリームチーズが練り込んであります。



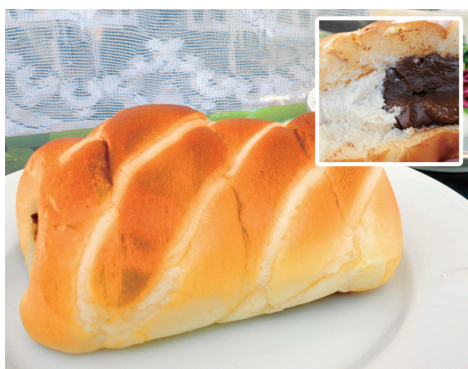
【カルボナーラ：¥160】

まろやかなチーズとベーコンの風味が口に広がります。チーズ好きな方にオススメです。



【ブルーベリークリームチーズ：¥140】

ブルーベリーの酸味とクリーミーなチーズの豊かな味をご堪能ください。



【Wクリーム：¥130】

ひとつのパンで、チョコと黒糖クリームふたつの味が楽しめます。

パンのご注文は

ドンキーワールド代表電話番号

0957-22-9569

ドンキーワールド



ホームページの
[パン販売部]から
も、メニュー
をご覧ください
ます。

泉 桃子
⇒今年は朝からバタバタして足の小指を踏みつけました。バタバタしないで健康に気をつけてがんばります。

坂田 光則
⇒去年の8月から木古里にきて慣れてきたので、無理せずにやっていきたい。今年は面白くしながら仕事をしたい。

大賀 誠
⇒今年も自分のやれることを、無理せずにやっていきたい。
畠岡 一二
⇒体重を減らして、自分の足で歩くようになりたい。

森 大輔
⇒去年は祖父母や親戚など入院が多かったが、お正月に久しぶりにあえてよかった。今年は健康第一で元気に仲良く仕事をがんばりたい。

川田 俊明
⇒今年は酒に頼らない生活をする。

橋本 昇
⇒仕事をがんばる。

小島 一正
⇒健康面に注意してみんなに迷惑をかけないようにしたい。

田中 克将
⇒今年は回転焼き、ジム、習字、ピアノをがんばりたい。

宮浦 満
⇒クリスマスケーキは、息子が一番注文をとることができました。今年は体重を75kg以下に体重を落としたい。

横田 渉
⇒木古里の売り上げをあげるようがんばりたい。

木下 正
⇒正月に太ったので、体重を90kgから85kgにする。

池田 秀春
⇒今年1年、怪我をしないようにしたい。パンの売上げが下がるようにしたい。

平田 いづみ
⇒あいさつは自分からいう、ありがとうは先に言う、いい年にしていきたい。

上原 英明
⇒あんまり輝きすぎたり、ふんばりすぎないで、あんばいよく、体調管理に気をつけたい。

竹田 哲志
⇒風邪など引かないようにがんばりたい。

池本 学
⇒健康に気をつけて去年より売上をのばしたい。

平古 場晃
⇒体重を63kgから60kgに減らしたい。ボールペン習字を上達したい。

2012年 Let's Go

あしたにむかって いま、かがやくために

本多 麻奈美
⇒私は12月28日より、寝る前に体操をはじめたので、それを続けたい。弁当づくりの盛り合わせを練習してうまくなりたい。

上戸 則幸
⇒木古里の仕事を手伝ってもらえるので、きれいになってきています。今年は木古里をもっとすばらしいところになるようにしていきたい。今プレハブの移動工事がはじまっています。

竹村 孝
⇒目標はドンキーを卒業すること。

才木 眞由美
⇒去年は体調もよかったので、今年も調子を崩さないようにしていきたい。

馬場 正次
⇒お正月に大吉がでたので、これからは下り坂になるかな？

田中 恵⇒回転焼き、カーヴィーダンス、書道、ピアノをがんばりたい。

田中 まゆみ
⇒5年日誌をつけているので、一言でもいいから毎日書くようにしたい。今年は二人目の孫もうまれるので、体力もつけて仕事をがんばりたい。

福地 常保
⇒病欠しないように最善の注意をしているので、去年は同窓会のためにやすんだだけだった。

上戸 留理子
⇒健康に気をつけて、仕事を楽しくできるようにしたい。

坂本 弘子
⇒自分は年々パワーアップしてきているようにおもう。いつも明るい笑顔でがんばりたい。

上戸 茂
⇒去年の8月からぼちぼち始めているが、今年は新しい気持ちでみんなと仲良く仕事をしたい。

溝越 利恵
⇒年末は忙しくてボーとしていることも多かったが、今年はしっかりしていきたい。

森 勝利
⇒仕事をするには、人の欠点ばかり見ないで自分でとりくんでほしい。なにもしないでいても、成功しない。失敗してもいいから、自分から積極的にとりくんでほしい。なにかある場合は、ささいなことでもお互いに相談しながら、ドンキーワールドをよりよくしていきたい。

中島 裕子
⇒去年はアクセクしていたが、今年は余裕を持って自分に楽しいことにも取り組んで行きたい。仕事もてきぱきこなして行きたい。

木寺 康則
⇒去年同様がんばってきたい。

※これは1月15日の新年会・全体会議で話した、なかまたちのことばです。

アスペルガー症候群の 講演を聴いて

先日、アスペルガー症候群という障がい児を持つ保護者の講演会に行きました。

【アスペルガー症候群】というのは、簡単に言えば、知的な遅れはないが、社会性・興味・対人関係に問題がでてくる発達障害のようです。

この話の子どもの場合は、漢字・数字に強い興味を示し覚えるのも早く、幼い頃は「天才だ」といわれたそうです。しかし人との関わりがうまくいかず、不安で小児科で受診したら、最初は「親の関わり方が悪い」と言われたそうです。

小学校に入学し、アスペルガー症候群とはつきり診断されるまで数年かかり、不登校のくり返しや転校もしたそうです。

診断がわかってても学校の理解はえられず、クラス9名の中学校へ移り、そこで受け入れられ、週に1日の登校だったのがだんだんと多くなり、卒業する時には友達関係もうまくいくようになったということでした。

このような発達障害の子どもたちが、自立していくためには、本人の指導や訓練だけでは難しく、取り巻く環境＝家族・学校などの理解、そして、支援技術(専門家・福祉・教育関係者)が必要だと話されていました。

家族の壮絶な戦いや、小学校時代の孤独、周りにわかってもらえない悔しさなどが話の中から伝わってきて、聞いている方もつらくなりました。

私はタックの仕事に就いて2年半になります。「苦手なところではなく、得意な面も良くみてください。」というこの方の話は、人との関わりりの原点だと思います。

まだまだ未熟な私ですが、みんなの良き理解者になれるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

溝越 利恵

訓練の大切さと楽しみ

私は、毎週火曜日と金曜日に、自宅まで先生に来て頂いて訓練を受けています。その時の身体の調子ではマッサージのみで終わったり、立位・膝立ちなどの課題にも取り組みます。訓練を受けた後は身体が軽くなったと感じます。

また月に一度は、特別支援学校の教室を貸りて開かれる訓練会にも行っています。この会には小学校入学前の子どもから50歳前までの、さまざまな障がいを持った方々が幅広く参加しています。

自分は股関節の固さを取るために“ゆるめ課題”を20程度行い、その後、長年取り組んでいる“立位”に移ります。「少しでも楽に長い時間立つ」ということが一番の目標です。しかし、日頃あまり立つ機会が少ないのでこの課題に取り組んだ後は足が痛くなります。訓練課題は、参加者各自異なりますが、みんな集中して頑張っています。

また、年に3度は諫早少年自然の家で訓練合宿があり、8月には“1週間合宿”があります。朝から夕方までスケジュールがびっしりと決まっていますが大変ですが、この合宿の時にしかお会いすることができない先生やなかまがいるので、自分はこの合宿を楽しみにしています。

訓練合宿が終わって家に戻ると、身体の調子がすごく良くなっているので、やはり訓練は大切だと実感します。

自分の身体の状態を維持するために、これからも訓練を受け続けていきます。 森 大輔



強い意志と
行動力があれば

電動車椅子でも生活をエンジョイ

私が諫早でひとり暮らしを始めて、もう9年がたとうとしています。現在、私の生活を支えてくれているのは「諫早福祉会」と大村の「セントケア」のヘルパーさんたちです。私は、排泄、着替え、入浴、食事、就寝といったすべての面で介護が必要です。

平成12年の介護保険制度のスタートにより社会がヘルパーを求める時代になり、ヘルパーの資格を取得する人たちが増えました。しかし、世論が考えていた以上に利用者が多く、それに対してヘルパーが不足する事態になりました。しかもヘルパーの仕事は過酷で、一般専門職の賃金より低いのが現状です。

ひとり暮らしを始める前は、同じ考え方を持つ何人かの障がい者と楽しく共同生活をしていましたが、「ヘルパーは団体の所には派遣しない」という規定があり、しかたなく仲間同士がお金を出し合って共有できるヘルパーさんを雇いました。でも、仲間が減っていく中で私の気持ちも変化して、「もっと自分らしい生活をした、もっと楽しい生活をした」と思うようになりました。そこで、私が通所しているドンキーワールドの施設長にアドバイスを受けながら、改造可能な住宅を見つけました。賃貸契約やケアプランなどを作りながら、初めてのひとり暮らしに気持ちが高まりました。その反面「夜中に何かがあったらどうしよう」という心配もありました。どうしたものかと考えていたところ「夜は有料で介護するが、お互い干渉しない」という条件で同居してくれる人が見つかりました。夜の介護費用は生活保護の中の他人介護料を諫早市に申請して、支払っています。当時は他人介護料を認可した前例がなかったので、何回

も市役所へ通って制度化してもらいました。

いろいろな問題を乗り越えて、電動車椅子で自由に動き回れる住宅に入居することができました。トイレ介護がしてもらいやすいように、壁を取り払い間口を広くしました。風呂場は湯船を大きくして油圧式のリフトを設置しました。これで入浴介護の時の、ヘルパーさんの負担をかなり軽減できていると思います。

これからひとり暮らしを始めようとする、すべての人たちに伝えたいことがあります。

私のような重度な障がいがあっても「自分はこうしたい、こうなりたい」という強い意志と行動力があれば「必ず夢はかなう」ということです。私は、体の続く限りこの生活をエンジョイしていきます。

大賀 誠

ロンロンのひとりごと

寒い季節の小浜、足湯温泉いいわね。
体も心もポッカポカ。去年の忘年会の帰には
ドンキーのみんなも足湯でホッコリしたそうよ。
私もうれしかったワン!!





コダカラベンケイ

日々パソコンや書類とにらめっこしている事務員の平田です。ドンキーワールドの一員に加わり約2年。毎日があっという間に過ぎ、退社まぎわの「わっ、もうこんな時間!!」というひとりごとで、今日も1日充実していたのだなぁと気づかされます。

最近、デスクに“コダカラベンケイ”の鉢植えがやってきました。名前のおり丈夫で子たくさん。葉の端から小さい芽(子)が次々出てきては、何かの拍子にポトンと落ちます。子もまた丈夫で、落ちて根を伸ばしどんどん増えていきます。だれにも迷惑をかけずに。人間はこうはいきませんね。コダカラベンケイを見ていると、インドの子供への教えの言葉が頭に浮かびます。それは、「人は誰もが迷惑をかけながら生きています、それをわかっていてください。」だった

と思います。こんなことばだと前向きに行動ができそうです。

これからも周りにお世話になっていることを感謝しながら、コダカラベンケイに負けないように成長していきたいです。 平田 いづみ



↑毎年恒例の「ワンワン会」クリスマス&忘年会が、昨年の12月23日に伊勢屋旅館で行われました。今年もみんな元気で集まりましょう。



お知らせ

ナイスハートバザール.....

3月6日(火)～3月8日(木) 10時～17時30分

場所：諫早市民センター1階ホール／市内福祉事業所施設の商品を販売します。今回は東日本大震災の災害で、避難した作業所の商品も販売します。

木古里祭り.....

4月21日(土)～4月22日(日) 11時～17時

木古里リニューアルのお礼、木古里作業所新設を祝って地域の方々をご招待します。

【問い合わせ】095-838-8738：木古里

チャリティー絵画展.....

5月19日(土)～5月21日(月) 10時～18時

場所：諫早観光ホテル道具屋／ぱれっと(地域活動支援センター)主催で、新施設移りの資金作りのために開催します。ドンキーワールドも共催でがんばります。

【問い合わせ】090-2390-7163

ぱれっと絵画展実行委員会：神崎

編集後記

◆ インフルエンザが猛威をふるっています。職場閉鎖にならないようにドンキーでは、手洗いとうがいを心がけています。紅茶でうがいをするのが、私の風邪を引かない秘訣です。 大賀 誠

◆ “障害者自立支援法”が“障害者総合福祉法”にかわります。この法律がすべての障がい者にとって、有益な法律になることを信じて、「きょうされん」で署名運動を行っています。 木寺 康則

◆ パン部に新職員さん、そしてタックに2名のなかまが増えて、賑やかで充実した日々を送っています。今まで以上にみんなで地域に貢献出来るよう、頑張ります。 森 大輔

◆ 文字を少し大きくした今号の通信はいかがでしたでしょうか？原稿のテーマが偏らないように情報を求めてアンテナを張っている毎日です。

上原 英明